北海道環境保全技術協会主催

H18 年度第 2 回環境保全技術セミナー
「北海道の自然由来重金属問題特集」

日時：平成 19 年 2 月 16 日（金）、午後 2 時～5 時 30 分
場所：かでる２．７（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）
　　セミナー会場： 5 階 520 研修室
参加費：無料

＜プログラム＞

１．開会挨拶および「道内の自然由来重金属概論」
（14:00-14:20）
[概要]： 北海道に特徴的な自然由来重金属の成因・分布と建設工事における問題点についての概論。
[講演者]： 道環協技術委員長・五十嵐敏文（北大院工・助教授））

２．「自然由来地盤汚染と不動産取引」
（14:20-15:10）
[概要]： 人為的汚染をともなう不動産をめぐって瑕疵担保訴訟や不動産価値の減価が発生し、不動産取引に障害となる事例が既に多数発生している。これに加えて北海道では、ヒ素や鉛による自然由来の地盤汚染によっても、同様の問題が発生する可能性がある。このような問題をどのように取り扱うべきか考察する。
[講演者]： 明治大学法科大学院　本間 勝

３．「自然由来の土壌・地下水汚染調査の実際例」
（15:20-16:10）
[概要]： 土壌汚染対策法における自然由来汚染の考え方（特に、バックグラウンドが高い場合など）や、自然由来汚染が想定された場合の調査の流れを、実際の調査例を紹介ながら説明する。
[講演者]： （財）日本ガス機器検査協会・土壌汚染調査グループ・成沢 昇

４．「自然由来重金属汚染の実態とその評価」
（16:20-16:50）
[概要]： 自然由来の重金属は、地層内での分布様式や存在形態を、さまざまな手法を組み合わせて調査することによって、その実体を正しく評価することができる。最新の蛍光Ｘ線分析装置などを使用した自然由来重金属の詳細調査手法や、この現場評価への適用性について説明する。
[講演者]： 産業技術総合研究所・地質情報研究部門・丸茂克美

５．「自然的原因の重金属汚染発生土の効率的措置対策とリサイクル」
（16:50-17:30）
長年の対策実績にもとづいて、全国各地で発生する土壌汚染対策法適用外の自然的原因の重金属汚染土壌の措置対策と再利用について提案し、併せて人為的な重金属汚染土壌に対する効率的な措置対策について触れる。
[講演者]シーリングソイル協会理事長・和田信彦

６．開会挨拶

参加総数 116 名（会員：31 名、会員外：24 名、官庁関係：46 名、その他：15 名）

明治大学法科大学院　本間　勝　様

（財）日本ガス機器検査協会
土壌汚染調査グループ　成沢　昇　様

産業技術総合研究所
地質情報研究部門　丸茂　克美　様

シーリングソイル協会理事長　和田　信彦　様

道環協技術委員長（北大院工・助教授）
五十嵐　敏文　様

全体